



株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
(東証グロース 証券コード:4260)

**キャスレーコンサルティング株式会社の
株式取得(子会社化)に関する補足資料**

2023年1月31日

在籍する全てのPM人材がエンジニア出身者で、アプリケーションからインフラまで幅広い知識を有し、上流工程に強みを持つキャスレーコンサルティング株式会社（以下、対象会社と言う。）の株式を100%取得し、子会社化。



株式譲渡契約締結日	2023年1月31日
株式取得日(効力発生日)	2023年4月3日(予定)
株式取得価額	300百万円
取得持分	100%
取得資金の調達方法	手元現預金より充当
今期業績への影響	精査中

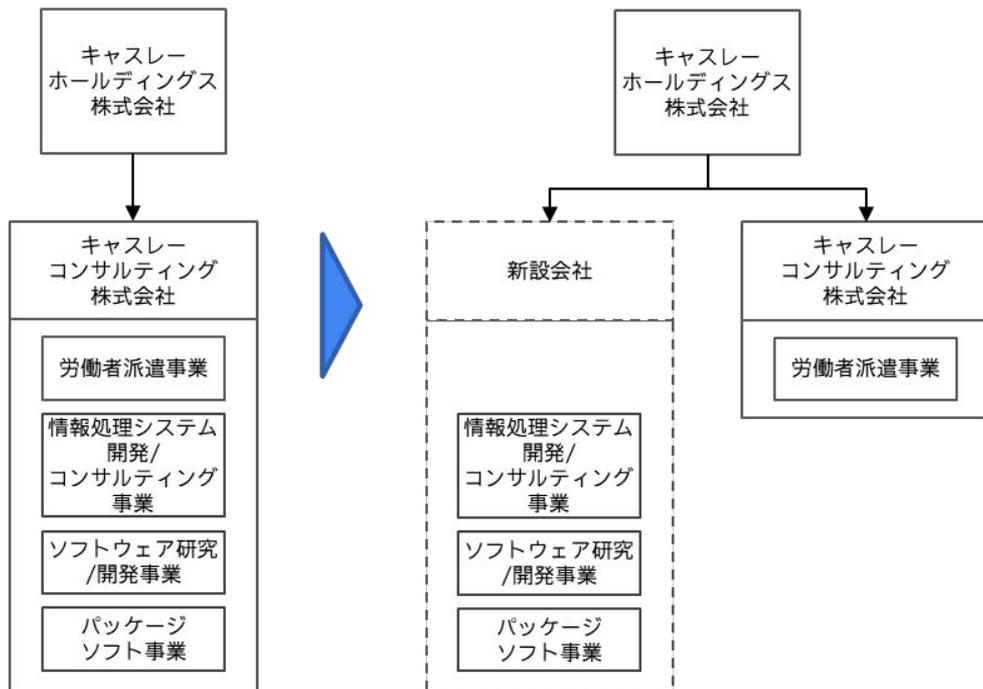
買収目的
想定されるシナジー

PM人材の確保・相互事業での人材交流やクロスセル

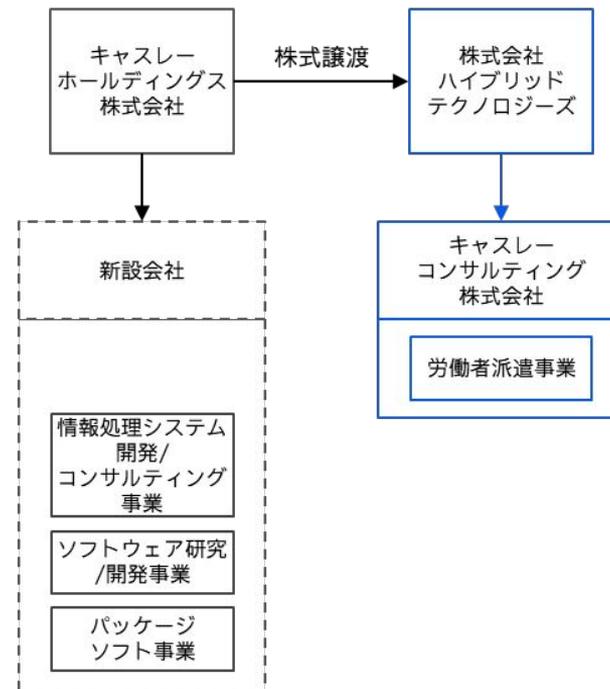
経験豊富なPM/コンサルティング人材が多数在籍し、PM人材育成のノウハウを持つ対象会社が当社グループに入ることによって、両社の間で事業シナジーが創出され、当社グループの非連続な成長に寄与すると判断し、対象会社の株式取得の決議に至りました。具体的には、当社が顧客に提供する「ハイブリッド型サービス」の安定性、品質の向上が期待できること、現在の対象会社の顧客に対して、労働者派遣サービスだけでなく、当社の「ハイブリッド型サービス」の提供が可能となること等を想定しております。

現時点の対象会社の100%株主であるカスレーホールディングス株式会社が新設会社を設立し、当社が子会社化する対象会社の事業のうち、労働者派遣事業を除く全ての事業、過去の債務、人員等を新設会社に移管。

①新設分割



②株式譲渡



キャスレーコンサルティング社の特徴

全社員がエンジニア出身者で構成されており他のITコンサルと比較し、技術力に強みを保有。アプリケーションのみならず、インフラに対する理解が強い。さらに、大規模案件でのベンダーコントロール経験が豊富であり、ユーザー情報システム部門の業務に精通。加えて、ITコンサルタントとして、システムの企画フェーズから運用まで一貫して対応可能であり、事業とシステムの成長・将来性を考慮したOSS（オープンソースソフトウェア）主体での最適アーキテクチャーの選定が可能。

会社名	キャスレーコンサルティング株式会社※
設立	2020年12月1日
所在地	東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
事業内容	労働者派遣事業※対象事業のみ
資本金	10百万円
売上規模（対象事業）	142百万円※2022年11月期見込み
従業員（対象事業）	15名※2023年1月時点
決算期	11月
拠点	東京

※キャスレーコンサルティング株式会社は、一定期間経過後、社名を変更する予定です。



執行役員
田中 啓和

略歴

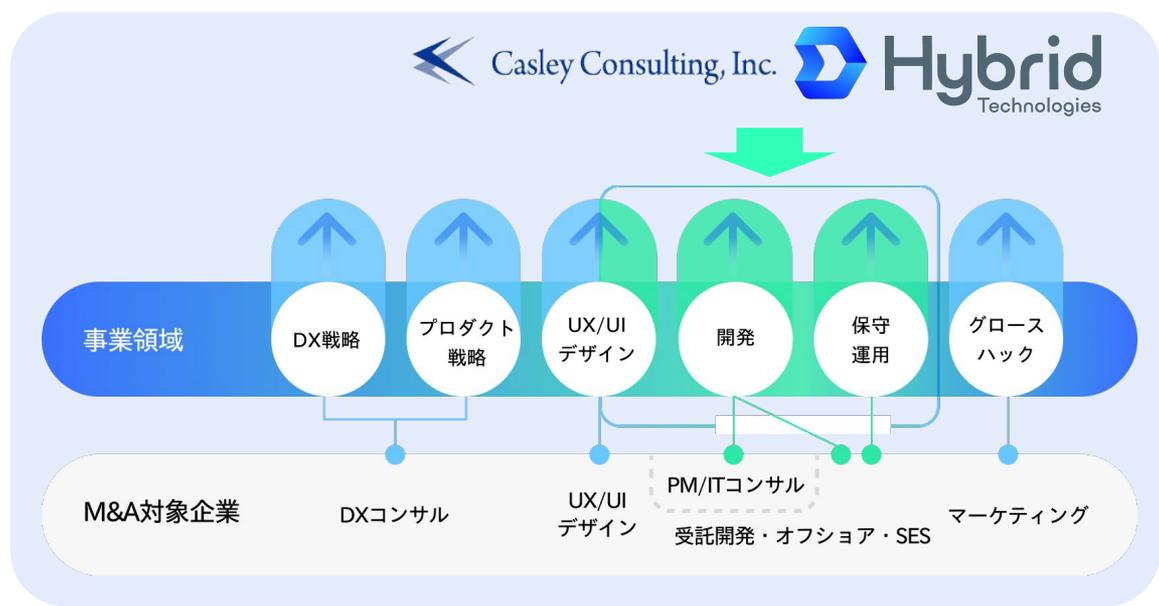
- 1994年 大手SIerに入社。一貫して直接・間接に関わらず受託開発案件業務に従事し、PG～PMの技術職キャリア形成ならびに、1997年に初級管理職就任後、主任、課長、室長を経て、技術からマネジメントに至るまでの幅広い業務知識を有す。2006年から14年間は、人事系・交通系基幹システムにおけるPM業務を担当。
- 2016年 キャスレーコンサルティングに入社。高速道路管理系基幹システムの業務統括PMに従事し、各種管理職の担当、ならびに本社における本件関連事業(SES・受託)の拡大に寄与。
- 2020年 同社 執行役員に就任。

【本人コメント】

キャスレーコンサルティングに入社後、PM派遣という領域の確立と受託との相乗効果にて事業拡大を図って参りました。主に現場PM派遣事業を担当し、単なるSESではなくコンサル的視点や価値創造を図るお客様側に立ったサービス提供を目指し、お客様へのファーストクラスのマネジメントサービスの提供に向け日々研鑽しております。今後も、お客様プロジェクトの価値最大化に寄与できるPM集団の形成に注力していきたいと考えております。

キャスレーコンサルティング社の豊富なPM人材や人材育成ノウハウを取り込み、ハイブリッド型サービスの上流工程を一層安定化、深化させつつ、豊富なベトナムITリソースとのシナジーを創出し、既存事業の件数増加、単価向上を狙う。

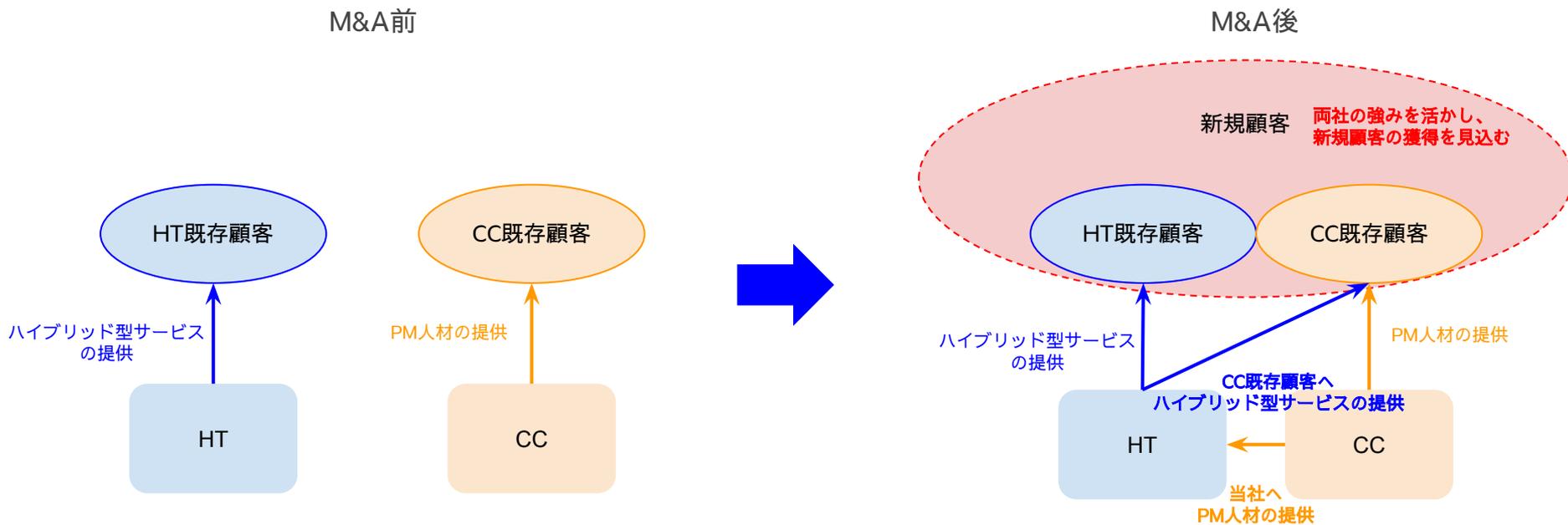
既存事業の開発領域



既存事業の拡大



キャスレーコンサルティング社のPM人材を当社案件にアサインすることで、「ハイブリッド型サービス」の安定性、品質の向上により、当社既存事業の単価向上を実現。また、キャスレーコンサルティング社の顧客に対して、PM人材の提供だけでなく当社の「ハイブリッド型サービス」を提供することにより、当社既存事業の件数増加を実現。



HT... 株式会社ハイブリッドテクノロジーズ
CC... キャスレーコンサルティング株式会社



Hybrid

Technologies

- ・本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望についても言及しております。
- ・これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。
- ・当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。
- ・本資料における将来展望に関する表明は、利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではございません。